

インテリア 科	科目名	工業数理基礎	担当者	石垣 安俊
履修学科	インテリア科			
履修学年	第 1 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	工業の各分野における工業事象の諸問題の解決を目指し、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて数理処理を行い、創意工夫して課題解決する能力を身に付ける。実数の分類、実数の演算ができるようにする。			
評価基準及び方法	定期テスト、小テスト、ノート提出、授業への取り組み			
使用教科書及び教材	実教出版（工業数理基礎）			
その他留意点	各項目の理論を学習する場面では、数式を取り扱う項目が非常に多くなっている。中学校レベルの復習も取り入れ、数式を暗記することを指すのではなく、物理的な意味をとらえ、他の項目との関連や単位について注目したり、その現象を発見したり数式化した先人たちの努力等に関心をもって学習に望んでもらいたい。また、できるだけ自分で考え、自ら計算を行い積極的に取り組むことが大切である。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	工業の事象の計算	現代の情報通信技術の進展に伴い、GPSシステムによるカーナビの仕組みを説明	
5	工業の事象の計算		
6	面積・体積・質量の計算	面積・体積の計算。面積の公式、代表的な建造物を参考に面積を計算。	
7	面積・体積・質量の計算		
9	面積・体積・質量の計算		
10	単位と計測	交際単位系、接頭語の使い方の説明、組立単位接頭語の関係・計算	
11	単位と計測		
12	工業の事象と数理計算	力の合成：力の合成方法、力の四角形 力の三角形、力の多角形	
1	工業の事象と数理計算		
2	工業の事象に作用する力・応力	集中加重と分布加重 作用する力の半力 構造物と内力 軸方向力	
3	工業の事象に作用する力・応力		